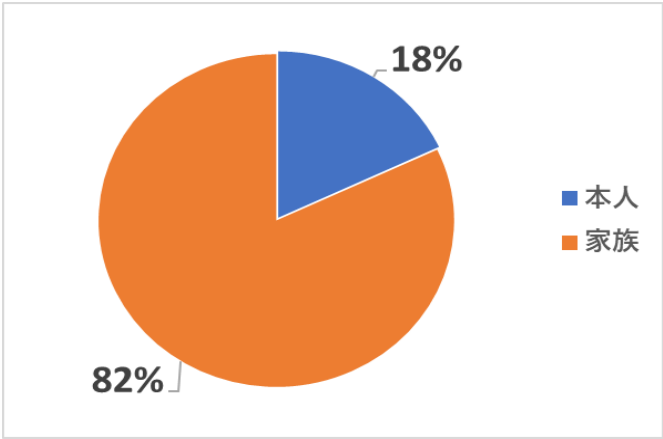
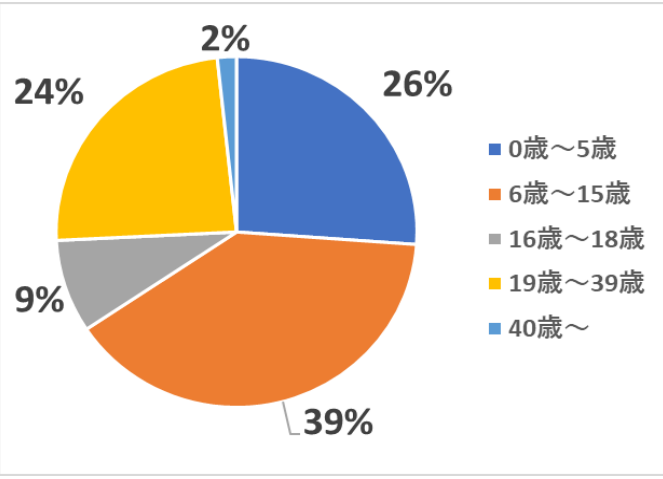
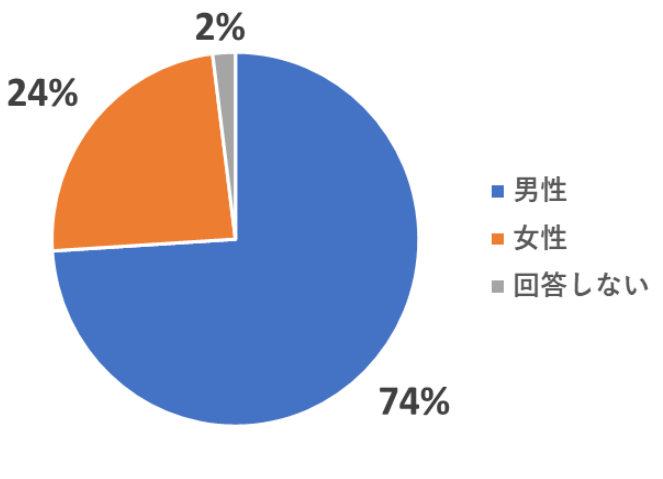


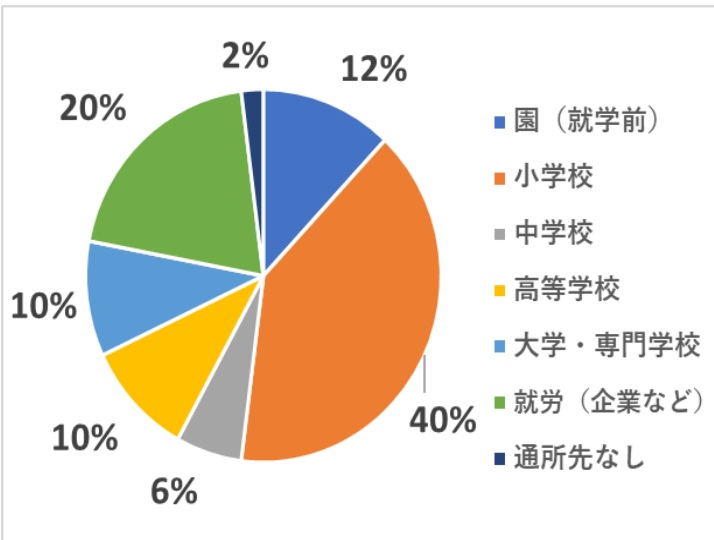
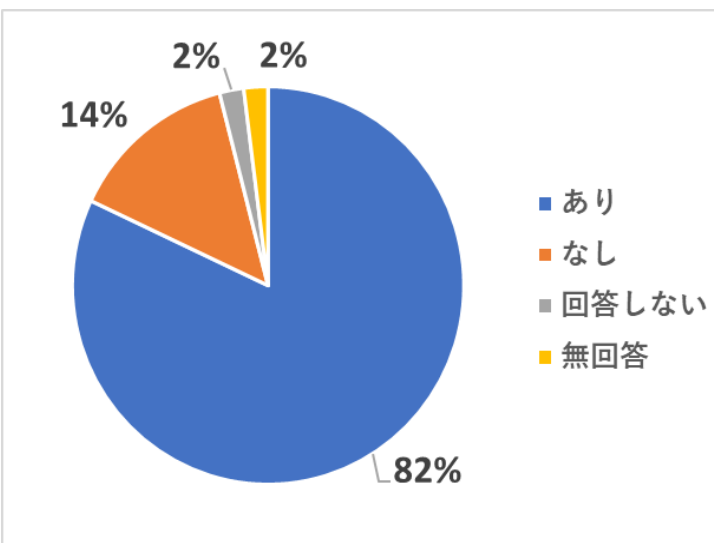
令和 6 年度 栗東市発達障がいの理解に関するアンケート調査 結果報告

調査名	令和 6 年度 栗東市発達障がいの理解に関するアンケート調査
目 的	栗東市における発達障がい児・者（その疑いを含む）に関する支援の充実につなげるため
実施方法	① 対面による調査票への記入 ② Web を通じた回答
実施期間	令和 7 年 1 月～令和7年 3 月末
対象者（回答数）	発達支援課事業を利用する本人及び家族 （ 50 名 ）

発達障がいの理解に関するアンケート結果

1. 回答者および対象者の傾向

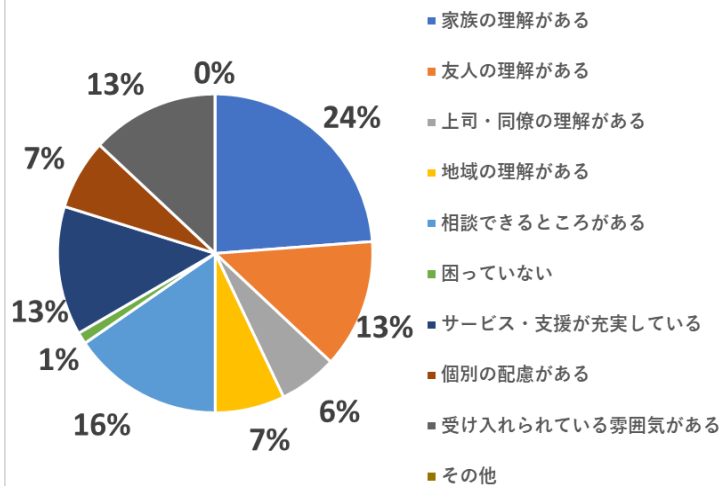
質問項目	結 果	
① アンケートに お答えいた いた方はど なたです	 ■ 本人 ■ 家族	● 今回の調査で回答いただいた方は、「本人」が 18%、「家族」が 82%となっています。
② ご本人の年齢	 ■ 0歳～5歳 ■ 6歳～15歳 ■ 16歳～18歳 ■ 19歳～39歳 ■ 40歳～	● 対象者の年齢は、「6 歳～15 歳」と義務教育段階にある年齢層が最も多く 39%を占め、次いで「0 歳～5 歳」の就学前段階が 26%となっています。
③ ご本人の性別	 ■ 男性 ■ 女性 ■ 回答しない	● 対象者の性別は「男性」が 74%、「女性」が 24%、「回答しない」が 2%となっています。

④ ご本人の所属先	 <table><thead><tr><th>所属先</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>園（就学前）</td><td>12%</td></tr><tr><td>小学校</td><td>40%</td></tr><tr><td>中学校</td><td>6%</td></tr><tr><td>高等学校</td><td>10%</td></tr><tr><td>大学・専門学校</td><td>10%</td></tr><tr><td>就労（企業など）</td><td>20%</td></tr><tr><td>通所先なし</td><td>2%</td></tr><tr><td>その他</td><td>2%</td></tr></tbody></table>	所属先	割合	園（就学前）	12%	小学校	40%	中学校	6%	高等学校	10%	大学・専門学校	10%	就労（企業など）	20%	通所先なし	2%	その他	2%	●対象者の所属は、「小学校」が最も多く 40%を占め、次いで「就労（企業など）」が 20%となっています。
所属先	割合																			
園（就学前）	12%																			
小学校	40%																			
中学校	6%																			
高等学校	10%																			
大学・専門学校	10%																			
就労（企業など）	20%																			
通所先なし	2%																			
その他	2%																			
⑤ ご本人の診断（発達障がい）の有無について教えてください	 <table><thead><tr><th>診断の有無</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>あり</td><td>82%</td></tr><tr><td>なし</td><td>14%</td></tr><tr><td>回答しない</td><td>2%</td></tr><tr><td>無回答</td><td>2%</td></tr></tbody></table>	診断の有無	割合	あり	82%	なし	14%	回答しない	2%	無回答	2%	●対象者の診断の有無では、「（診断）あり」が 82%となっています。								
診断の有無	割合																			
あり	82%																			
なし	14%																			
回答しない	2%																			
無回答	2%																			

2. 発達障がいの理解と支援について

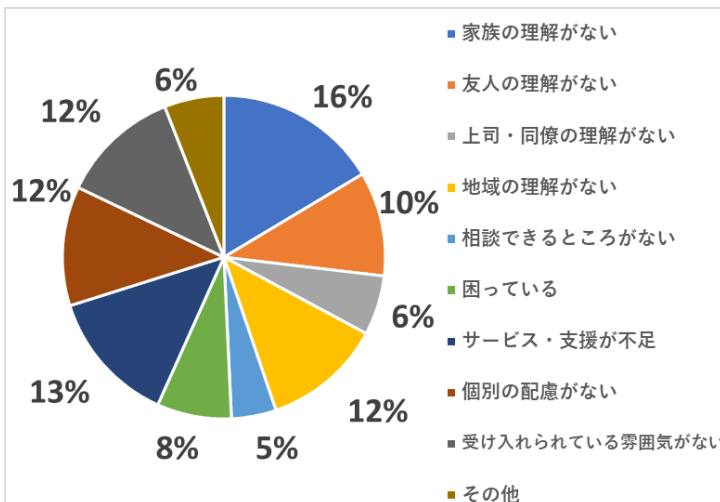
質問項目	結 果																	
⑥ 発達障がいについて、周囲から理解されていると感じますか	<table><thead><tr><th>理解の有無</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>よく理解されている</td><td>10%</td></tr><tr><td>理解されている</td><td>34%</td></tr><tr><td>あまり理解されていない</td><td>28%</td></tr><tr><td>理解されていない</td><td>14%</td></tr><tr><td>どちらともいえない</td><td>12%</td></tr><tr><td>無回答</td><td>2%</td></tr><tr><td>その他</td><td>2%</td></tr></tbody></table> - よく理解されている - 理解されている - あまり理解されていない - 理解されていない - どちらともいえない - 無回答	理解の有無	割合	よく理解されている	10%	理解されている	34%	あまり理解されていない	28%	理解されていない	14%	どちらともいえない	12%	無回答	2%	その他	2%	●発達障がいの理解について、「よく理解されている」（10%）、「理解されている」（34%）となり、合わせて44%を占めています。 ●一方、「あまり理解されていない」（28%）、「理解されていない」（14%）であり、合わせて42%を占めています。 ●「どちらともいえない」は12%、「無回答」は2%となっています。
理解の有無	割合																	
よく理解されている	10%																	
理解されている	34%																	
あまり理解されていない	28%																	
理解されていない	14%																	
どちらともいえない	12%																	
無回答	2%																	
その他	2%																	

⑦ 『問 6』で「よく理解されている」「理解されている」と回答された方にお尋ねします。なぜ、そう思いますか(複数回答可)



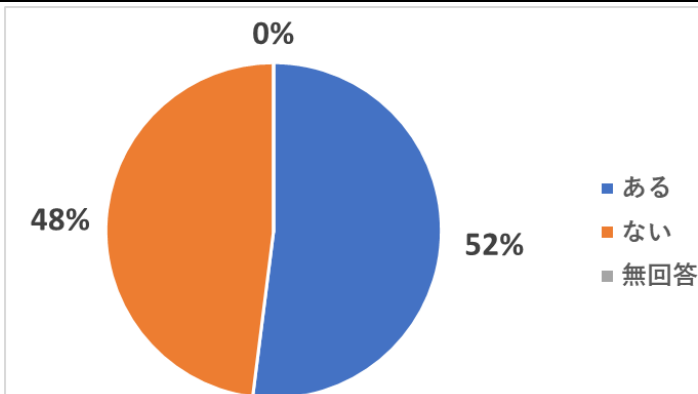
●発達障がい者の理解について、「よく理解されている」「理解されている」と回答された理由では、「家族の理解がある」が24%と最も多く、次いで「相談できるところがある」が16%となっています。

⑧ 『問 6』で「あまり理解されていない」「理解されていない」と回答された方にお尋ねします。なぜ、そう思いますか(複数回答可)



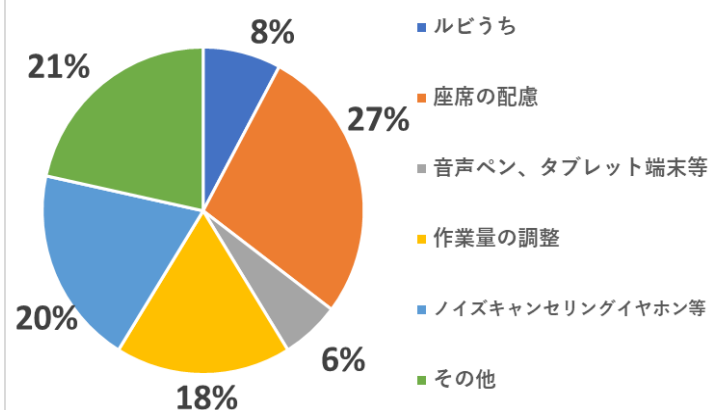
●発達障がい者の理解について、「あまり理解されていない」「理解されていない」と回答された理由では、「家族の理解がない」が16%と最も多く、次いで「サービス・支援が不足している」が13%となっています。

⑨ 合理的配慮を求めたことがありますか



●合理的配慮を求めたことが「ある」と回答された方は52%であり、「ない」と回答された方は48%となっています。

⑩ 『問 9』で「ある」とお答えした方にお尋ねします。合理的配慮の具体例を教えてください。(複数回答可)



●合理的配慮を求めたことが『ある』と回答された方の『提供を受けた合理的配慮の具体例』では、「座席の配慮」が27%と最も多く、次いで「その他」が21%と多くなっています。

●「その他」の具体例として、『視覚的に伝える』、『待ち時間や場所の配慮』、『困った特に相談できる場所の確保』等がありました。

⑪ 『問 9』で「ない」とお答えした方にお尋ねします。合理的配慮を求めたことがない理由を教えてください(複数回答可)	<table><thead><tr><th>理由</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>どのように求めればいいのかわからない</td><td>58%</td></tr><tr><td>周囲の理解が得られない</td><td>19%</td></tr><tr><td>その他</td><td>15%</td></tr><tr><td>特別な配慮を得ることに抵抗がある</td><td>8%</td></tr><tr><td>None</td><td>0%</td></tr></tbody></table>	理由	割合	どのように求めればいいのかわからない	58%	周囲の理解が得られない	19%	その他	15%	特別な配慮を得ることに抵抗がある	8%	None	0%	●合理的配慮を求めたことが『ない』と回答された方の理由では、「どのように求めればいいのかわからない」が58%と最も多く、次いで「その他」が19%となっています。 ●「その他」の具体例として、『こちらから求めたことがない』、『求めなくても配慮されている』、『合理的配慮がよくわからない』等がありました。		
理由	割合															
どのように求めればいいのかわからない	58%															
周囲の理解が得られない	19%															
その他	15%															
特別な配慮を得ることに抵抗がある	8%															
None	0%															
⑫ 発達障がいに対する支援は充分だと感じていますか	<table><thead><tr><th>回答</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>十分に感じている</td><td>18%</td></tr><tr><td>感じている</td><td>36%</td></tr><tr><td>あまり感じていない</td><td>26%</td></tr><tr><td>まったく感じていない</td><td>8%</td></tr><tr><td>どちらともいえない</td><td>12%</td></tr><tr><td>無回答</td><td>0%</td></tr></tbody></table>	回答	割合	十分に感じている	18%	感じている	36%	あまり感じていない	26%	まったく感じていない	8%	どちらともいえない	12%	無回答	0%	●発達障がいに対する支援では、「十分に感じている」(18%)、「感じている」(36%)となり、合わせて 54%を占めています。 ●一方、「あまり感じていない」(26%)、「まったく感じていない」(8%)であり、合わせて 34%を占めています。 ●「どちらともいえない」は 12%、「無回答」は 0%となっています。
回答	割合															
十分に感じている	18%															
感じている	36%															
あまり感じていない	26%															
まったく感じていない	8%															
どちらともいえない	12%															
無回答	0%															

3. 皆様の感想・ご意見(自由記述欄より抜粋し、まとめさせていただきました)

- ・ライフステージに合わせ、家族向けの研修を自宅で受けたい。
- ・進学や就労について、気軽に話せる場があるとよい。
- ・耳鼻科、歯科など、障がい専門病院があるとよい。
- ・世の中の認知度がまだまだ低いと感じる(都道府県・区・市のサービスのバラつき、各種サービス(公的含む)工程の複雑さと多さ)

ご意見に対して

今回のアンケートにより、皆様から様々な貴重なご意見を聞かせていただくことができ、栗東市の発達支援を振り返るよい機会となりました。いただいたご意見を真摯に受け止め、今後の栗東市の発達支援の充実につなげてまいります。ご協力ありがとうございました。

栗東市こども家庭局発達支援課